



第20回 道の駅メルヘンおやべつかさ屋本店 「ありがとう集め」

小矢部B級グルメのコンテストで最優秀賞を受賞した「おやべなめらかプリン」と「エッグホッパー」。この二品をどうやって広めて、販売するのか? ...
「ぼくやります!!」



熱湯に手を突っ込んだ時の引きの速さ。まさにその反射神経のようなスピードで決断、そして実行した。

株式会社インスパイアを設立し、道の駅メルヘンおやべのテイクアウトコーナー「つかさ屋本店」をオープン。販売を始める。
その男、片岡司に話を聞いた。



高校卒業後、大阪の建築系の専門学校に進学。大阪でDJをしながら、クラブイベントの企画を手がけるようになる。
「みんなが喜んでくれることがうれしい。」

自分が経営者となり、イベント会社をやりたいう気持ちで強くなり、経営の勉強をするため東京の大学(夜間)に進学。
「大学卒業後、東京で就職活動をしたんですが、これはいろんな会社を見学するため。経営の勉強です。」

夢は見るものではなく、実現させるもの。
大阪と東京で多くの刺激と経験を積み、24歳で小矢部に戻る。その年にトータルイベントグループ「プシュー」を立ち上げる。

なぜ小矢部だったのか? そんな疑問をぶつけた。
「じいちゃんとはあちゃんを幸せにしてあげたいんです。それが僕の夢です。」

「両親が共働きで、じいちゃん、ばあちゃんに育ててもらったよ。うなもんなんです。」
「小学校の時、ありがとう集めの運動があった。例えば、ぼくが黒板を消すと、それを見ていたクラスメイトが、僕の箱にありがとうの紙を入れる。」

「ありがとう集めが、大好きなんです。」
現在28歳。会社を立ち上げて今年で4年。
シーフとしての主な実績は、砺波で開催したカウントダウンパーティー。12月31日の夜8時から朝まで続く若者のイベントだ。これはカウントダウンイベント

としては、2年連続北陸ナンバーワンの来場者数を誇った。
また、砺波のチューリップフェアで、お好み焼き屋やケーキ屋など砺波の有名店と連携して飲食ブースを企画。
「人のためにしてあげることが、一番楽しいんです。」

これが原動力の源。
片岡くんは、小矢部情報発信委員会の少子化プロジェクトチームの一員にもなり、活躍している。
「じいちゃん、ばあちゃんに幸せになるには、小矢部も変わらないといけない。」

「同世代の友達が、『小矢部はおもしろくないな』って言うてるのをよく耳にするけど、なんで『じゃあ、俺が何とかする』っていう発想になんないんやろ。」
「僕って変ですか? 僕の中で

は当たり前です。」
現在「おやべなめらかプリン」をより進化させ、小矢部の観光PRと特産品の卵を融合させた企画を立案中。とても楽しみだ。



エッグホッパーを焼くスタッフ。



道の駅メルヘンおやべ
テイクアウトコーナー つかさ屋本店
〒932-0022
富山県小矢部市桜町1535番地1

メルヘン インフォメーション

~小矢部市観光協会のメルヘンブログを
かわら版でご紹介~

1月28日(木)・29(金)に、
小矢部市の観光物産フェアを行います

場所は・・・「名古屋」!
東海北陸自動車道が開通し、身近になった東海圏。その東海圏の中心・愛知県の名古屋市で、今回、小矢部市のPR活動をするようになりました。
東海地方の方に、小矢部市の特産品やお祭り・観光名所な

どの魅力をたっぷりご紹介したいと思っています!

販売する特産品(食べ物)は・・・
しっとりきんつば、
銘菓「薄氷(うすごおり)」
「源平柴舟(げんべいしばふね)」
などのおせんべい、
にしんの糍漬け、かまぼこ、
昆布巻き、お麩、お醤油、
たまご、 などなど。

それから・・・
初穀(もみがら)を使用して



作った「メルヘン米箸 (my hashi)」

また、今回は「クイズ大会」
も行いますッ!

富山県小矢部市の
魅力がいっぱいの
「観光物産フェア」です



小矢部市観光協会ホームページはこちら
<http://www.oyabe.info/>

キャンペーン応募用紙

切り取ってお使い下さい。

- ・住所
- ・氏名
- ・電話番号
- ・メールアドレス



プレゼント



Oyabe Local Shopでは、つかさ屋本店様からご提供頂いた「おやべなめらかプリン」を3名様にプレゼントします。

キャンペーン切
2月15日
(月)



PC・携帯からのご応募

<http://www.startaro.com/shop/>

FAX からの応募

左記の応募用紙をご記入の上、0766-68-1789

ご応募お待ち
しております!

あなたのお店、取材します。



詳しくはこちら
<http://www.startaro.com/>